

上越地域消防事務組合人事行政の運営等の状況

上越地域消防事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の規定に基づき、令和6年度の人事行政の運営等の状況をお知らせします。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 採用者数

	令和6年4月1日採用	令和7年4月1日採用
消防職員	12人（再任用5人を含む。）	14人（再任用9人を含む。）

(2) 退職者数（令和6年度）

令和6年度退職者	計 12人	内訳	定年退職 4人 任期満了 5人 勸奨退職 0人 普通退職 3人 死亡退職 0人
----------	-------	----	---

(3) 職員数（令和7年4月1日現在）

令和6年4月1日現在	300人（男291人、女9人）
令和7年4月1日現在	302人（男293人、女9人）
対前年増減数	2人

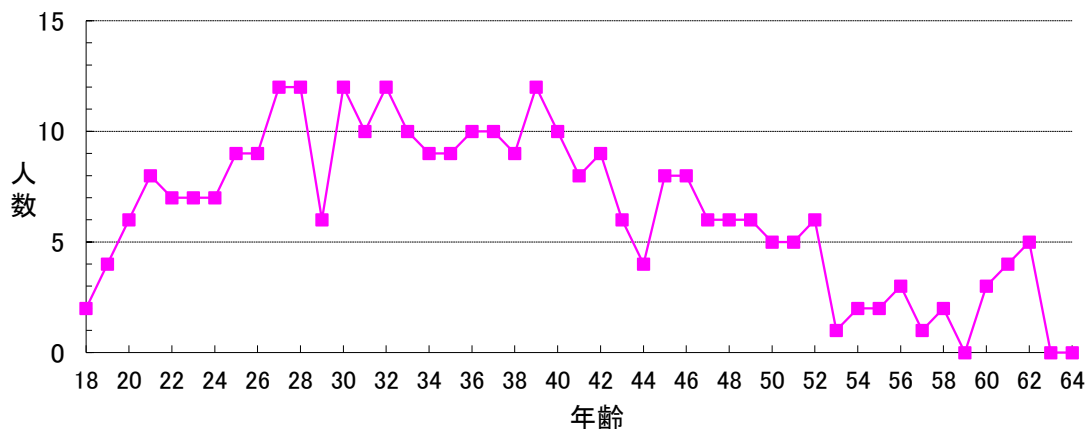
(4) 所属別職員数（令和7年4月1日現在）

	所属名	職員数		対前年増減数 (人)
		令和6年	令和7年	
消防局	消防局長	1	1	0
	次長	0	0	0
	総務課	15	14	△1
	指令統制課	23	26	3
	消防防災課	8	8	0
	予防課	13	14	1
消防署	上越消防署（※1）	83	80	△3
	上越南消防署（※2）	53	55	2
	新井消防署	37	36	△1
	頸北消防署	23	23	0
	頸南消防署	22	22	0
	東頸消防署	22	23	1

※1 名立分遣所を含む。

※2 高士分遣所を含む。

(5) 年齢別職員構成（令和7年4月1日現在）



年齢	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
人数	2	4	6	8	7	7	7	9	9	12	12	6	12	10	12	10
年齢	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
人数	9	9	10	10	9	12	10	8	9	6	4	8	8	6	6	6
年齢	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
人数	5	5	6	1	2	2	3	1	2	0	3	4	5	0	0	0

2 職員の人事評価の状況

人事評価の実施状況

地方公務員法第23条の2及び人事評価に関する規程に基づき、全職員を対象に能力評価及び業績評価を実施しています。

3 職員の給与の状況 （注） 上越市及び妙高市へ派遣している3人は除きます。

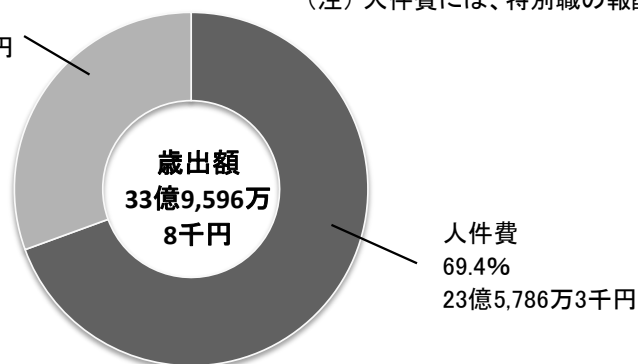
(1) 人件費（令和6年度普通会計決算）

歳入額 ・ ・ 34億310万2千円

歳出額 ・ ・ 33億9,596万8千円

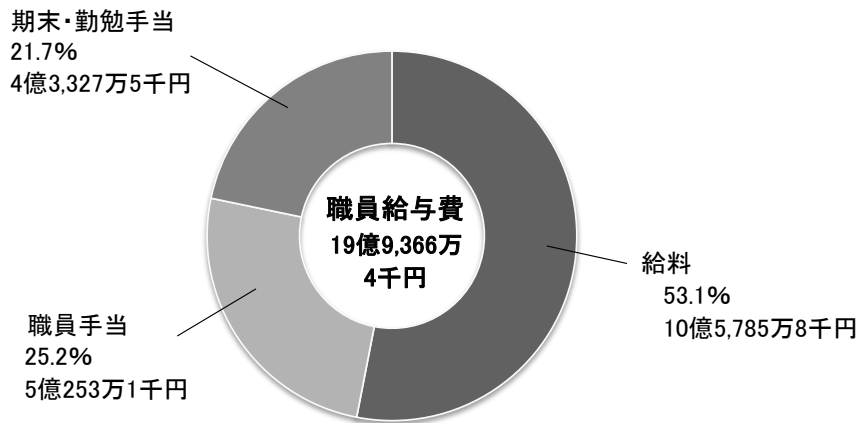
人件費以外の歳出
30.6%
10億3,810万5千円

（注）人件費には、特別職の報酬を含みます。

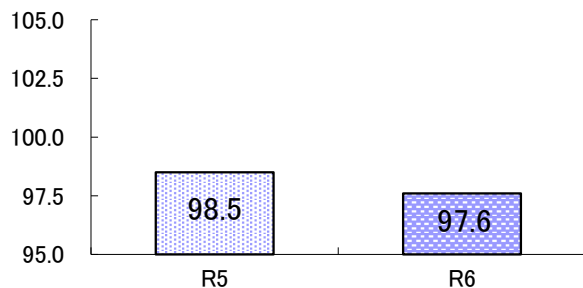


(2) 職員給与費（令和6年度普通会計決算）

該当職員数 296人 → 職員1人当たり年間給与費 673万円5千円



(3) ラスパイレス指数



(注) ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

(4) 職員の平均年齢・平均給料月額・平均給与月額（令和7年4月1日現在）

区分	上越地域消防事務組合	
平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
36.5歳	301,186円	385,895円

(注) 平均給与月額は、支給された給料のほかに、各種手当（扶養手当、住居手当、管理職手当、時間外勤務手当等）を加えた額です。

(5) 職員の初任給（令和7年4月1日現在）

区分	上越地域消防事務組合 (国と同じ)	新潟県 (一般行政職)
	初任給	初任給
大学卒	220,000円	225,600円
高校卒	188,000円	194,500円

(6) 職員の経験年数別平均給料月額（令和7年4月1日現在）

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
大学卒	286,200円	319,633円	363,400円
高校卒	252,100円	290,266円	342,500円

(注) 経験年数とは、卒業後直ちに採用され、引き続き勤務している場合の年数です。

(7) 等級及び職制上の段階ごとの職員数（令和7年4月1日現在）

職務の級	級別基準職務表に規定する基準となる職務	合計		内訳			職制上の段階		
		人	%	階級	職名	人	人	%	段階
1 級	係員の職務	42	14.0	消防士	係員	42	90	30.1	係員級
				合計		42			
2 級	困難な所掌事務を行う係員の職務	48	16.1	消防副士長	係員	32			
				消防士長	係員	16			
				合計		48			
3 級	主任の職務	107	35.8	消防士長	主任	60	107	35.8	主任級
				消防司令補	主任	44			
				消防司令補	副主査（3）	3			
				合計		107			
4 級	1 係長の職務 2 困難な所掌事務を行う主任の職務	71	23.7	消防司令補	主任	1	71	23.7	係長級
				消防司令補	副隊長	2			
				消防司令補	係長	21			
				消防司令	副主査	0			
				消防司令	副隊長	2			
				消防司令	隊長	5			
				消防司令	係長	40			
				合計		71			
5 級	副課長の職務	20	6.7	消防司令	副主幹（5）	8	20	6.7	副課長級
				消防司令	分遣所長	2			
				消防司令	消防副署長	3			
				消防司令	副課長	6			
				消防司令長	消防副署長	1			
				合計		20			
6 級	課長の職務	10	3.3	消防司令長	消防署長	5	10	3.3	課長級
				消防司令長	課長	4			
				消防監	消防署長	1			
				合計		10			
7 級	1 次長の職務 2 困難な所掌事務を行う課長の職務で任命権者が指定するもの	0	0.0			0	0	0.0	次長級
				合計		0			
8 級	消防局長の職務	1	0.3	消防正監	消防局長	1	1	0.3	消防長級
				合計		1			
	合計	299	100.0						

(注) 1 上越地域消防事務組合の職員の給与に関する条例に基づく級別基準職務表の職務の級で区分した職員数です。

2 職名の () 内は再任用の人数 (内数) であることを表します。

(8) 昇給への勤務成績の反映状況

所属長からの昇給日前1年間の勤務状況及び成績証明に基づき、昇給を行っています。

(9) 職員手当 (令和7年4月1日現在)

① 期末・勤勉手当

上越地域消防事務組合	国
1人当たり平均支給額 (令和6年度)	(令和6年度支給割合)
期末手当 勤勉手当	期末手当 勤勉手当
2. 50月分 2. 10月分	2. 50月分 2. 10月分
役職に応じた加算措置	(加算措置の状況)
・役職加算 5~20%	職務上の段階、職務の級等による加算措置
	・役職加算 5~20%
	・管理職加算 10~25%

② 退職手当

(支給率) 自己都合 勸奨・定年	(支給額) 自己都合 勸奨・定年
勤続20年 19. 6695月分 24. 586875月分	勤続20年 19. 6695月分 24. 586875月分
勤続25年 28. 0395月分 33. 27075月分	勤続25年 28. 0395月分 33. 27075月分
勤続35年 39. 7575月分 47. 709月分	勤続35年 39. 7575月分 47. 709月分
最高限度額 47. 709月分 47. 709月分	最高限度額 47. 709月分 47. 709月分
その他の加算措置	その他の加算措置
定年前早期退職特別措置 (2~20%加算)	定年前早期退職特別措置 (2~45%加算)

③ 地域手当

支給対象地域	新潟市
支給率	3%
支給対象職員数 (令和6年度)	1人
国の支給率	3%

(注) 地域手当は民間賃金・物価が特に高い地域に勤務する職員に対し、在勤する期間に限って支給する手当です。

④ 特殊勤務手当

支給職員 1人当たり平均支給年額 (令和6年度決算)	59千円
職員全体に占める手当支給職員の割合	87. 0%
手当名	災害出動手当
	救急業務手当
	夜間消防業務手当

⑤ 時間外勤務手当

支給実績 (令和6年度)	68, 317千円
職員 1人当たり平均支給月額 (令和6年度)	20千円
支給実績 (令和5年度)	73, 690千円
職員 1人当たり平均支給月額 (令和5年度)	21千円

⑥その他の手当

手当名	上越地域消防事務組合	国の制度と異なる内容
扶養手当	・配偶者 6,500円 ・子 10,000円 (16歳～22歳の子1人につき5,000円加算) ・父母等 6,500円	なし
住居手当	○借家 月額16,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、負担している家賃の額に応じて最高28,000円（家賃61,000円以上の場合）まで支給	なし
通勤手当	○交通機関（電車、バス）利用者 負担している運賃の額に応じて、1か月当たり最高55,000円まで支給 ○交通用具使用者（自動車等使用者） 2,900円～44,100円 ○交通機関と交通用具を併用しパークアンドライドにより駐車場等の利用料金を負担している場合当該料金の1/2（3,000円を限度）	・交通用具使用者の距離区分及び金額 ・パークアンドライドに係る利用料金（県と同様の制度であり、国の制度とは異なる。）

（１０）特別職の報酬等（令和7年4月1日現在）

区分	報酬年額	期末手当	退職手当
報酬	議長 136,000円	—	—
	副議長 100,000円		
	議員 93,000円		
	管理者 210,000円		
	副管理者 183,000円		

４ 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況（令和7年4月1日現在）

区分	勤務時間		休日等
	始業時刻	終業時刻	
毎日勤務者	8:30	17:15	・ 日曜日及び土曜日 ・ 国民の祝日 ・ 年末年始（12月29～31日、1月2～3日）
	1週間当たり38時間45分勤務		
三部勤務者	8:30	翌日の8:30	・ 任命権者が定める日 ・ 国民の祝日 ・ 年末年始（12月29～31日、1月2～3日）
	1週間当たり38時間45分勤務		

5 職員の休業の状況

(1) 休暇の取得（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

休暇の種類	対象者数	1人当たり平均取得日数
年次休暇	300人	12日5時間
特別休暇	296人	6日4時間
病気休暇	78人（取得者数）	8日7時間

(2) 育児休業及び部分休業の取得（令和6年度）

育児休業	6人
育児部分休業	1人

6 職員の分限及び懲戒処分の状況（令和6年度）

(1) 分限処分の件数及び処分手由

処分名	件数	事 由
休 職	7件	心身の故障

(2) 懲戒処分の件数及び処分手由

0件

7 職員のサービスの状況（令和6年度）

営利企業等への従事許可の事由別人数

事 由	人数
農業	2人
農家組合等	3人
自治会役員等	10人
スポーツ指導者等	11人
鳥獣捕獲等	1人
合 計	27人

8 職員の退職管理の状況（令和6年度）

(1) 規制対象者数（令和5年4月1日～令和7年3月31日の間に離職した者）

規制対象者数 8人

(2) 任命権者への届出数

届出数 0件

（注）任命権者への届出数は、在職時「課長級以上の職」にあった規制対象者のうち、営利企業等への再就職を届け出た件数です。

9 職員の研修の状況（令和6年度）

（1）教育機関研修

①消防大学校

学 科	期 間	人 数
幹部科	46日	1 人
危険物科	34日	1 人

②新潟県消防学校

学 科	期 間	人 数
初任科	前期	156日 4 人
	後期	156日 3 人
警防科	15日	3 人
予防査察科	15日	2 人
火災調査科	14日	2 人
救助科	30日	3 人
救急科	前期	50日 3 人
	後期	52日 3 人
初級幹部科	14日	3 人
高度救助コース	11日	1 人
操法審査員研修	3日	2 人

（2）本部研修・派遣研修・所属研修（OJT）

研修項目	主な研修内容	
消防局研修	階層別研修	中隊長研修、小隊長研修、新職員研修ほか
	派遣・専門研修	消防学校等入校、メンタルヘルス研修、潜水技術研修 原子力防災研修、火災調査主任調査員研修ほか
	総合訓練	国際消防救助隊連携訓練、緊急消防援助隊災害派遣訓練 水質事故対策実地訓練、消防防災航空隊合同訓練ほか
所属研修 （OJT）	基本研修・訓練	新職員研修、安全運転研修、機関員養成講習、 救急隊員生涯教育研修、消防局訓練場使用訓練ほか
	応用研修・訓練	災害事例事後検証会、緊急消防援助隊研修会、 震災対応訓練、災害時指令統制・情報共有対応訓練ほか
	伝達研修	ポンプ操法伝達研修、 消防局研修受講者伝達研修ほか
自己啓発研修	自主研修	消防防災・救急関係講座、資格取得ほか

10 職員の福祉及び利益の保護の状況（令和6年度）

（1）健康診断の実施

定期健康診断	受診者数	293人	（注）人間ドック受診者52人を含む。
深夜勤務者健康診断等	受診者数	237人	

（2）公務災害及び通勤災害の認定

公務災害	1件
通勤災害	0件

11 上越地域消防事務組合公平委員会の業務の状況（令和6年度）

（1）勤務条件に関する措置の要求

0件

（2）不利益処分に関する審査請求

0件